

令和6年人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業総括

1. 事業の名称

稲瀬PR作戦「空飛ぶフードプロジェクト」

2. 事業の目的

人口減少、高齢化、小学校の閉校等により地域の環境が変化する中で、地元産農産物を活用した交流事業を行うことにより、稲瀬地区内で農業と地域づくりに一体的に取り組む機運の醸成及び地域内外の多様な関係人口を創出する。

3. 実施方法

(1) 愛知県豊山町のイベントでのPR活動

- ・県営名古屋空港の所在地である、愛知県豊山町内で開催されるイベントに稲瀬PRブースを出展し、農産物と稲瀬地区の情報発信を行う。
- ・フジドリームエアラインズ及び愛知県内事業者との連携を図る。

(2) 高校・大学と連携した地域ブランディング

- ・農産物の付加価値向上のため、統一デザインを取り入れた地域ブランディングのための勉強会を開催し、稲瀬地区の地域の農的暮らしを伝えるプロモーション材料を作成する。
- ・高校・大学と連携して、稲瀬地区がまるごと探求学習のフィールドとなる仕組みづくりを行い、多様な人が稲瀬地区に関わる環境を整える。

4. 事業内容及び実施状況

(1) 愛知県豊山町のイベントでのPR活動

① 第1回イベント

令和6年7月12日（金）に、エアポートウォーク名古屋・アピタ名古屋空港店青果売場内で稲瀬地区の特産物であるとうもろこしのPR、販売を行った。

② 第2回イベント

令和6年10月27日（日）に、愛知県豊山町社会教育センターで行われた第36回豊山町産業まつりに、稲瀬地区の特産物である、米「銀河のしずく」のPR、販売を行った。

(2) 高校・大学と連携した地域ブランディング

- ・専修大学北上高等学校及び石巻専修大学と連携して、「稲瀬地区の持続可能な米づくりプロジェクト」を行った。
- ・「いなせクリエイティブコンテスト2024」で、とうもろこし・米「銀河のしずく」のパッケージデザインの作成を行った。

5. 事業の効果

(1) 愛知県豊山町のイベントでのPR活動に関して

- ・稲瀬地区と消費者が直接つながる仕組みや農産物を媒介に稲瀬地区及び地区の特産物を発信することができた。
- ・愛知県内事業者や住民と関わるきっかけになったことにより、関係人口の創出策の検討をさらに推し進めることができた。

(2) 高校・大学と連携した地域ブランディングに関して

- ・稲瀬地区を高校生の探究学習のフィールドとする基盤をつくったことにより、多様な関係人口を増やすことができた。
- ・とうもろこしと米の地域ブランディングを行ったことにより、農産物の付加価値向上の推進を図ることができた。

6. その他

稲瀬地区では、地域外の多様な方々との交流を通じて、地域の魅力を再認識するきっかけとなり、住民の地域に対する誇りや、新たな挑戦への意欲が育まれました。今回の取り組みは、単なるイベントにとどまらず、今後、農業と地域づくりを一体的に進めていく上での土台となる可能性を感じています。

また、高校生による探究学習の場として稲瀬地区が定着しつつあり、今後の継続的な関わりを通じて、さらに多様な関係人口の広がりが期待されます。



稲瀬地区の特産物であるとうもろこしのPR、販売の様子（エアポートウォーク名古屋・アピタ名古屋空港店青果売場内）



稲瀬地区の特産物である、米「銀河のしずく」のPR、販売の様子（愛知県豊山町社会教育センターで行われた第36回豊山町産業まつり）



専修大学北上高等学校と連携した、稲瀬地区の持続可能な米づくりプロジェクトの成果発表会の様子（稲瀬地区交流センター内）